

台風や洪水への対策って、何をするの？

秋は、台風をはじめ、大雨や洪水、豪雨などの自然災害が発生しやすい季節です。被害を最小限に抑えるためにも、最新の気象情報を確認して早めの台風対策・洪水対策を行うことが大切です。ただし、台風が接近している最中に屋外へ出るのは危険です。このため、台風などの自然災害が起こる前に対策に取り組みましょう。

【屋外での対策】

- ①植木鉢やゴミ箱などは、風で飛ばされないように固定したり、家の中へ格納したりしましょう。
- ②庭木や堀などは、風で倒れないように補強しておきましょう。
- ③車庫や物置などは、傷んでないかを確認し、飛ばされないように補強しておきましょう。
- ④外出する予定がある場合は、必ず台風が通過する前か通過した後に外出するようにしましょう。

雨や風が強くなってからの作業は大変危険です。最新の気象情報を十分に確認し、早めに対策を取ってください。

【屋内での対策】

- ①テレビやインターネットなどを活用し、最新の気象情報の入手に努めましょう。
- ②洪水ハザードマップや各種災害への備えについて、「留萌市防災ガイド・マップ」で確認しましょう。

「留萌市防災ガイド・マップ」は、市役所本庁舎1階ロビーをはじめ、市内コンビニエンスストアなどで配布しています。また、市ホームページ(<http://www.e-rumoi.jp/>)でも、ご覧いただけます。



留萌市防災ガイド・マップ P13～P32「津波・洪水ハザードマップ」
P37～P38「雨・風・土砂災害に備える」

留萌市防災
ガイド・マップ

- ③停電時に備え、携帯ラジオや懐中電灯、備蓄食料などを用意しておきましょう。
- ④避難が必要となった場合に備え、非常持出品を用意しておきましょう。

留萌市防災ガイド・マップ P7～P8「災害への心得（非常時の持出品・備蓄品）」

自然災害の発生時に家での待機が危険と判断した場合は、自主避難を行いましょう。
 なお、自主避難の際は、必ず市・総務課へ連絡しましょう。

◎自主避難所について

自主避難所とは、市が「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」の発令時に開設する指定避難所とは異なり、災害への不安を感じた市民からの要望を考慮した上で、事前の避難を希望す

る方を対象に一時的に開設する避難所です。なお、自主避難所へ避難する際は、**避難者が各自で必要品（飲料水や食料品、日用品など）を持参し、避難してください。**

災害による自主避難を希望される方は、市・総務課へご連絡ください。

問 市・総務課 ☎ 56-5005